

ワールド産業 株式会社

文化・習慣の
違いを越えて



当社は…衛生消耗品の製造・販売会社。ミャンマーでは清掃・ハウスキーピング・弁当販売など現地での情報ネットワークを活かし多岐にわたる事業を展開。中国・ベトナムへ展開後、ジェトロの支援を受けミャンマーへ進出。



会長が語る

ミャンマーで驚いたのは、**商売の契約書や領収書が全然ないこと**。すべて口約束。それからミャンマー人の金銭感覚も違います。銀行を使用せずすべて自宅管理をしている情状です。日当をもらってそのお金で食料を買うからです。給料は日払いで、毎日払うのが大変です。それから時給っていう考えがなく、1日に就業時間の半分、4時間しか働いてないのに1日分を要求。その時は、言葉がわからないふりして「**もっと働こうね**」とか日本語で言っちゃうの(笑)。

しかし、『日本人はこうですよ、ここまでやりなさい』じゃないわけ。どんなに違うと思っても、まず**ミャンマー人の考え方を70%以上取り入れる**。その上で「ここ違うよ、こうしてみよう」で考え方をプラスしていく。だから私、夜学でミャンマー語を習っています。それは商談のためでもあるし、スタッフから直接話を聞けるようにならなきゃと思って。努力と忍耐はやっぱり必要ですよ。

あと、スタッフへの接し方と同じで余裕を持ちたいのは「**資金の備え**」。ミャンマーでは**当初計画の倍の支出がある**と考えなきゃだめです。成長性が高くてリスクな市場だから、弊社も計画通りの予算しか用意がなければ今頃はもうアウト。日本で**収益の柱があった**からこそ、ここまで来れた感じです。



ワシも見習いたいので、**自分で学ぼう**とする会長の姿勢!

EPISODE **それでも、愛情は信頼の礎**

衛生関係の仕事ですから、信用・信頼無くして仕事にはなりません。ミャンマー人に任せてもそのクオリティーは譲れない。だからリーダーは日本で訓練し、マニュアルも作って教育もしました。日本語教育もしっかりします。が、それでも社員が辞めてしまうことも。給料本位では「信用・信頼」の仕事はできません。裏切られることもあるけど、愛情を注ぐ対処をしなければ、と考えています。



自分の行動で世界を広げる

ビジネスの広がり、人から人へと繋がって生まれてきます。でもその仕事は他人任せではダメです。躊躇してもダメ。何より、経営者自らが何事にも興味を持って動かないと、自分で行動を起こすと、思ってもみなかった新たな世界が広がりますよ。

とにかく相手の話を聞かなきゃ。だから私、夜学でミャンマー語習っています。



代表取締役会長 鈴木 文代

事業内容

クリーンルーム商品/海外縫製工場生産委託/衛生商品輸出入業務/繊維商品/繊維資材販売/理化学機器/環境機器販売/内装インテリア設計施工工事/店舗改修工事/塗装工事/大工工事/エクステリア工事

企業情報

■所在地: 川崎市幸区 下平間187-10
■設立: 1982年11月
■資本金: 3,000万円
■社員数: 9名
■URL: <http://world-sangyou.net>

海外進出

2004年 中国
2012年 ベトナム
2014年 ミャンマー

1. 月末に銀行から降ろしてきた現金。
2. 現地での縫製も指導。技術も向上してきている
3. ミャンマーのワーカー専用のランチ
4. 同社の商品イメージ
5. 清掃業のスタッフとのミーティング風景